



# 令和3年度 練馬区みどりの実態調査報告書 概要版

練馬区

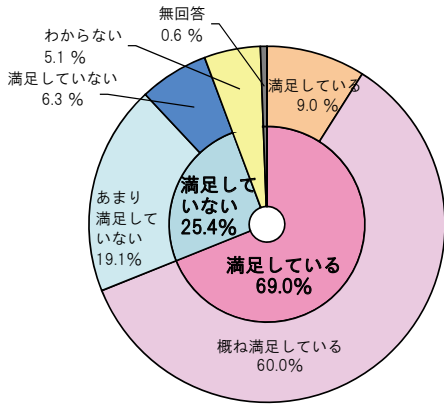


# 区民の意識・意向

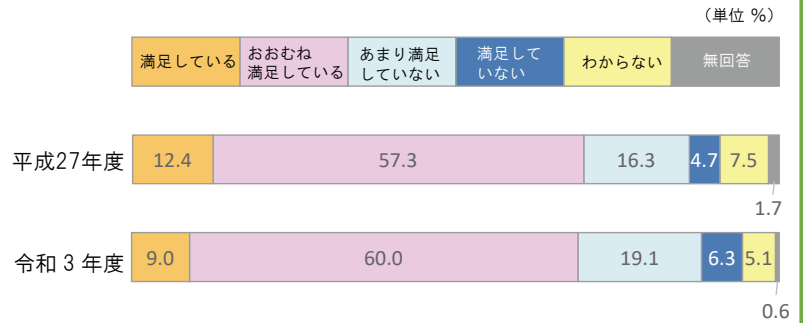
■対象 練馬区在住 20 歳以上 3,000 名（住民基本台帳から無作為抽出）

■調査期間 令和 3 年 10 月 11 日～ 11 月 9 日 ■有効回収数 1,254（回収率 41.8%）

## ■練馬のみどりに満足している区民の割合



令和 3 年度の「満足」「やや満足」を合わせた割合は 69.0%で、平成 27 年度と比較すると横ばいでした。



## ■みどりを守り増やすために必要な取組(3つまで選択)

- 1 道路や河川沿いに公園や緑地を整備する 64.3%
- 2 小規模でも身近な公園や緑地を整備する 61.2%
- 3 民有樹林地や農地の所有者を積極的に支援する 44.5%
- 4 開発や建替え時の緑化規制・誘導を強化する 42.7%
- 5 地域ごとに大規模な公園や緑地を整備する 35.5%
- 6 緑化の義務化や助成制度を強化する 31.8%
- 7 その他・無回答 4.1%



大泉学園町希望が丘公園

## ■参加してみたい緑化活動(いくつでも選択)



花壇づくり

- 1 公共の花壇づくりや植替え作業 28.0%
- 2 公園の清掃や除草作業 23.4%
- 3 練馬みどりの葉っぱい基金への寄付 20.5%
- 4 保護樹林・保護樹木の落ち葉清掃作業 19.9%
- 5 憩いの森の清掃や草刈り作業 16.1%
- 6 参加できない・したいと思わない 34.1%
- 7 その他・無回答 7.1%



# 調査結果と練馬区みどりの総合計画

緑被率は 22.6%となり、前回調査より 1.5%減少しました。公共のみどりは増加していますが、民有地のみどりは減少し続けています。特に 300 m<sup>2</sup>以上の樹木地が大きく減少していることがわかりました。

アンケート調査では、練馬区のみどりに満足している区民の割合は横ばいで、みどりを守り育てるために必要な取組として、公園・緑地の整備や民有樹林地・農地への支援が上位となりました。

区では、平成 31 年 4 月に練馬区みどりの総合計画を策定し、練馬のみどりに満足している区民を 80%に増やすことを 30 年後の目標としています。今回の実態調査の結果を今後の取組に活かし、練馬のみどりを未来へとつなげていきます。

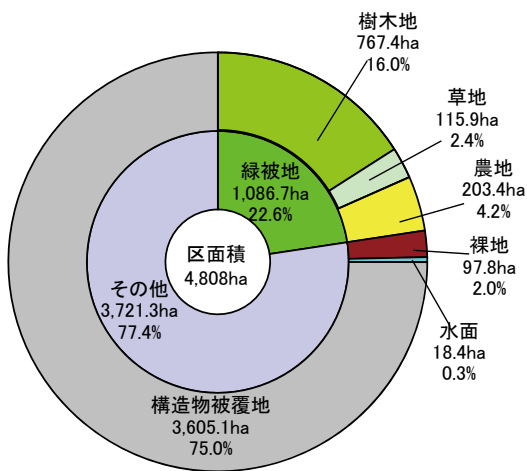
# みどりの実態調査とは

「練馬区みどりを愛し守りはぐむ条例」に基づき、区内のみどりの現状を把握するため、みどりの実態調査を5年ごとに行っています。今回は11回目の調査となります。

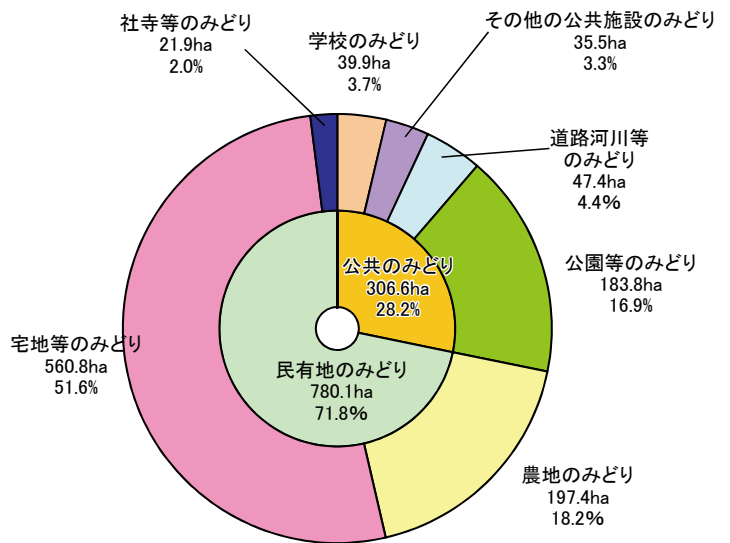
今回の調査では、緑被率と緑視率の調査を行うとともに、みどりに関する区民の意識や意向を把握するため、アンケート調査を行いました。

## 緑被面積 1,086.7ha 緑被率 22.6%

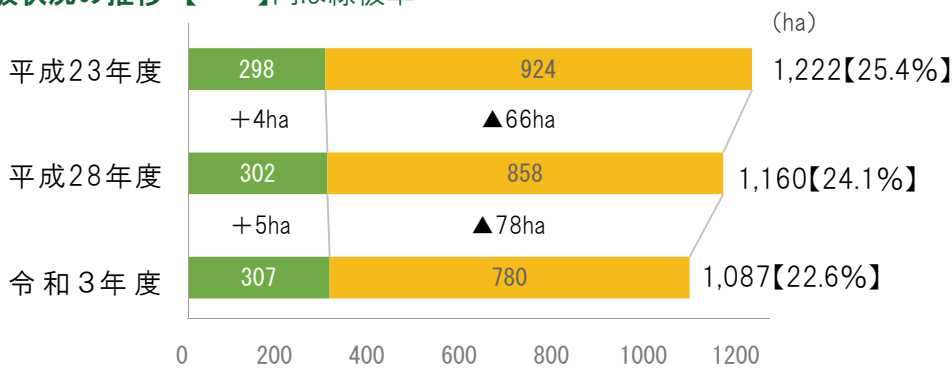
### ■緑被状況



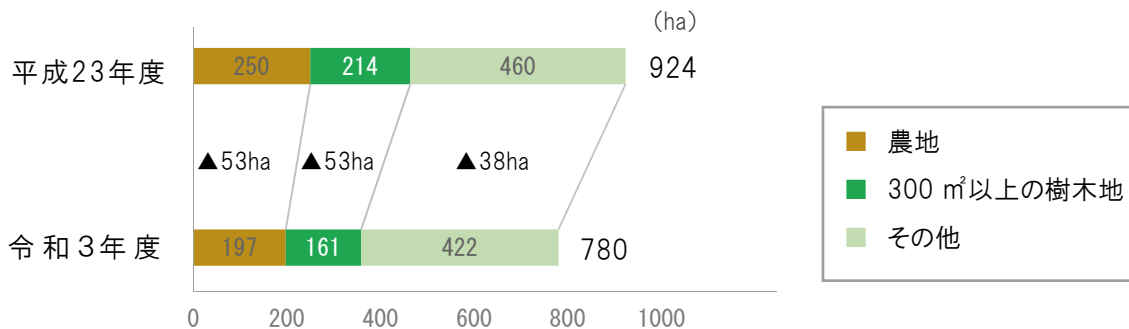
### ■公民別の緑被状況の内訳



### ■緑被状況の推移【 】内は緑被率



### ■民有地のみどり内訳の推移



緑被率…上空から見た樹木地や草地、農地で覆われた部分(緑被地)の面積が区域の面積に占める割合  
300㎡以上の樹木地…樹木(高木～低木)で覆われている面積が300㎡以上の箇所

# 緑被分布図



石神井公園駅近くのカワツザクラ並木



みどりの多い緑地協定地区の街並み



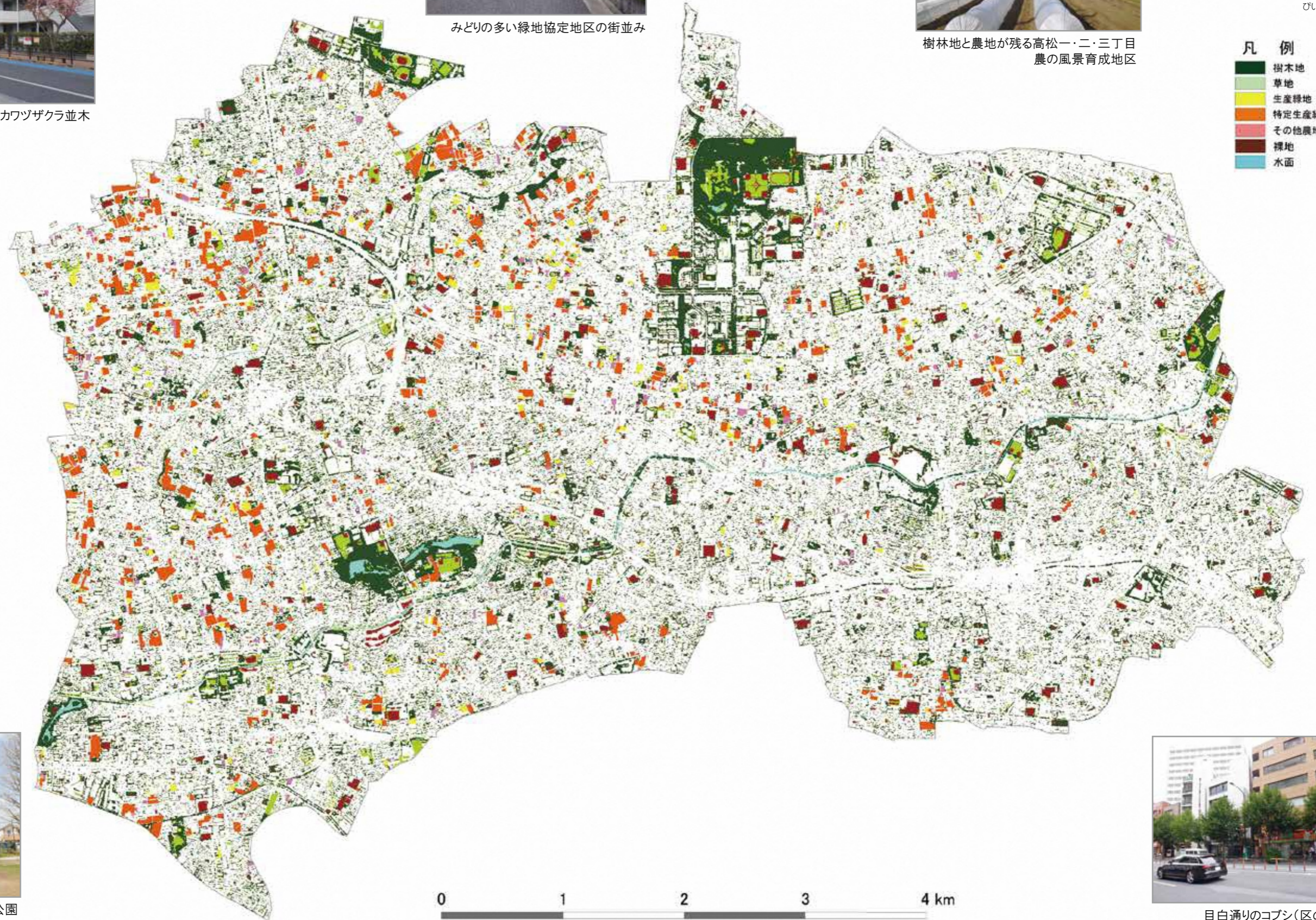
樹林地と農地が残る高松一・二・三丁目農の風景育成地区



びいちゃんの練馬区

## 凡例

- 樹木地
- 草地
- 生産緑地
- 特定生産緑地
- その他農地
- 裸地
- 水面



0 1 2 3 4 km



令和4年に生誕160年を迎える牧野富太郎博士の自宅跡地にある牧野記念庭園



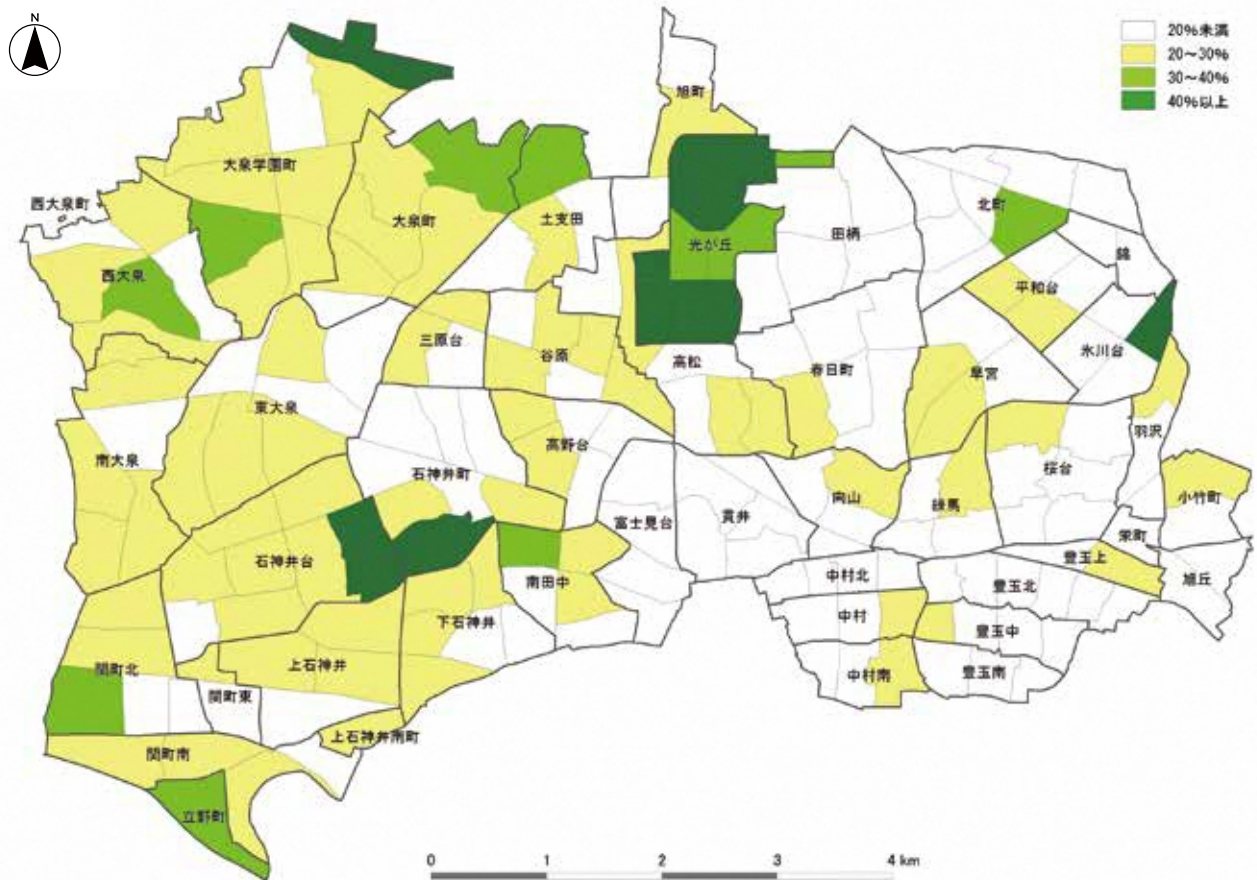
令和2年に開園した上石神井こもれび公園



目白通りのコブシ(区の木)並木

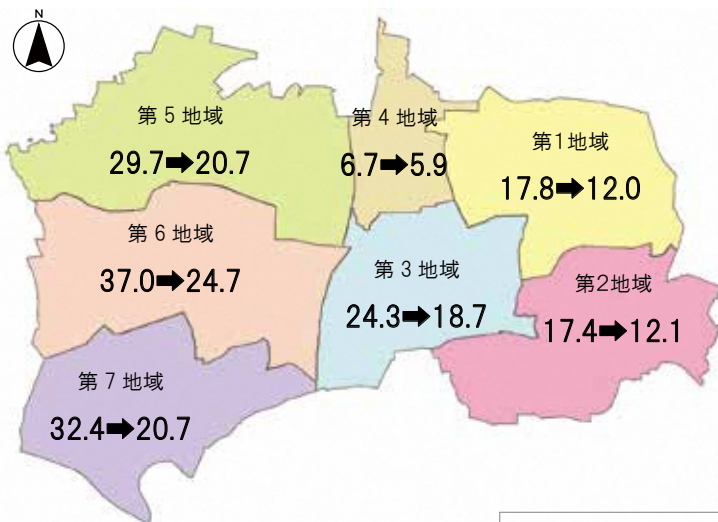
# 緑被地の状況

■町丁別緑被率 農地や大きな公園がある町丁目では、緑被率が高くなっています。



# 300 m<sup>2</sup>以上の樹木地の推移

■宅地等の樹木地の地域別の面積推移



練馬区都市計画マスタープランの地域別に、300 m<sup>2</sup>以上の宅地等の樹木地について、合計面積を調べたところ、令和3年度は第6地域が最も大きく、第4地域が最も小さい結果となりました。

推移をみると、合計面積が大きい第5~7地域で、多く減少しています。

平成23年度 → 令和3年度  
樹木地面積 樹木地面積  
(ha)



300 m<sup>2</sup>以上の樹木地

# 緑視率調査

## ■緑視率とは

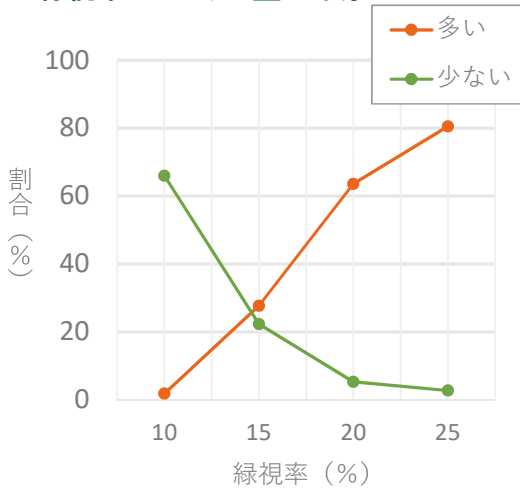
人の視野に近い、地上からの高さ1.5m、焦点距離24mm(35mmフィルム換算)の範囲を写真撮影し、その写真に占めるみどりの面積の割合のことを緑視率といいます。



緑視率算出のイメージ(緑視率 27.5%)

$$\text{「みどりの面積」} \div \text{「写真の面積(幅} \times \text{高さ)」} = \text{緑視率}$$

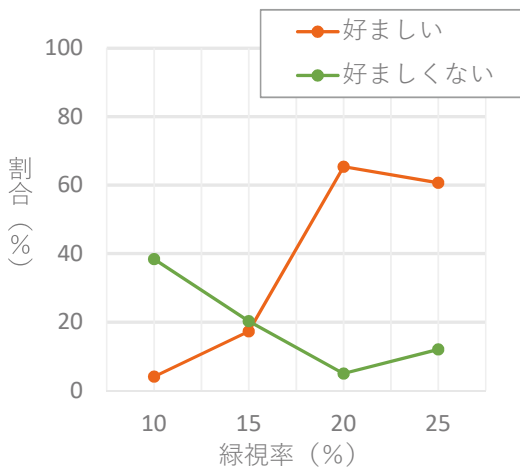
## ■緑視率とみどりの量の印象



国土交通省の調査では、「緑視率がおよそ25%を超えると、緑が多いと感じる人の割合が高くなる傾向がある」としています。

練馬区内の住宅地の写真を用いてアンケート調査を行った結果、緑視率が高くなるほどみどりが「多い」と感じる区民は増え、緑視率が20%を超えると、約6割の区民がみどりを「好ましい」と感じる結果となりました。

## ■緑視率とみどりに対する好感度



緑視率 10%



緑視率 15%



緑視率 20%



緑視率 25%

## ■みどりの街並みづくり助成制度

区ではみどり豊かな街並みを形成することを目的に、道路沿いの緑化やそれに伴う塀等の撤去費用を助成しています。接道部を緑化することにより、緑視率は大幅に上昇します。



緑化前(23.7%)



緑化後(43.7%)

助成制度については、区ホームページをご覧ください





### 美しい街並みをつくります

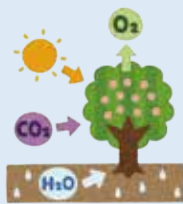
景色に潤いや  
やすらぎをもたらし、  
美しい街並みを  
つくります

### 練馬の歴史を伝えます

練馬区の歴史や  
武蔵野のおもかげを、  
未来に伝えます



### まちの環境を良くします



騒音の緩和、ヒートアイランド現象を  
抑制するなど、都市環境を改善します

### 防災に役立ちます

#### 避難場所



延焼防止や避難場所といった  
防災機能があります

### 身近な遊び場や 散歩道となります



散策やスポーツ、  
遊びなど

レクリエーションの場として利用できます

## みどりの機能

豊かなみどりは快適で安全な  
都市生活に欠かせない存在です



### 生きものの 生息場所になります



生きもののすみかや  
移動経路となり  
多様な生命を育みます



### コミュニティを 育みます



自然体験や  
農業体験、  
花壇づくりなどを楽しみながら、  
人々の交流を推進します

## 練馬 みどりの葉っぱい基金

ありがとう♪



びいちゃんの練馬区

練馬みどりの葉っぱい基金は、平成16年10月に、みどりの保護と回復を目的として設置した基金です。募集期間限定の短期プロジェクトと、随時寄付できる長期プロジェクトがあり、応援したい内容を選んで寄付することができます(みどり全般への取組に寄付することもできます)。

### 寄付金を活かした取組 【四季の香ローズガーデンの拡張】



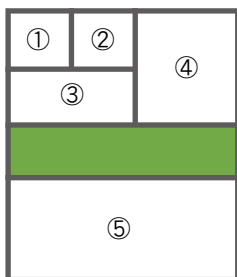
シンボルローズ 「四季の香」

詳しくは  
こちら  
から



### ■表紙の写真について

- ①カタクリ (清水山の森)
- ②ケヤキの街路樹 (青梅街道)
- ③河川沿いのサクラ (石神井川粕谷橋)
- ④落ち葉清掃の様子 (中村)
- ⑤樹林地と農地 (立野町)



## 令和3年度 練馬区みどりの実態調査報告書 概要版

令和4年(2022年)7月発行

編集・発行 練馬区環境部みどり推進課

東京都練馬区豊玉北六丁目12番1号

電話03-5984-1659

